

- ① 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。
- ② 日本文化についての考えを深める。

確認

文章の流れをつかもう

「間の文化」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。
 にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

日本語の「間」という言葉の意味

空間的な間

① と ① とのあいだの何もない空間

例 日本の家（⇄ 西洋の家）

時間的な間

② 「何もない時間」

例 日本古来の音曲（⇄ 西洋のクラシック音楽）

心理的な間

③ 長短さまざまな ② な距離

例 日本の「遠慮」（⇄ 中国の「遠慮」）

筆者の主張

・日本人は、生活や ③ や人間関係のあらゆる分野で間を使いこなしながら暮らしている。

・間の使い方は、この国の最も基本的な「④」である。

・日本文化は、まさに「⑤」である。

確認

要旨をつかもう

次のあらましを読んで、作品の要旨としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

日本文化は、住居などの「空間的な間」、芝居や音楽などに顕著に見られる「時間的な間」、人や物事とのあいだにとる「心理的な間」といった、さまざまな「間」を使いこなす「間の文化」といえる。日本人が尊重し培ってきた、異質なもののどうしの対立を和らげ、調和させ、共存させる「和」の土台となるのが、この「間」なのである。

5

ア 「間」と「和」という日本文化の特殊性。

イ 日本人や日本文化に見られる「間」の重要性。

ウ 「和」を実現するための「間」の必要性。

参考資料

【著者紹介】

長谷川 権（はせがわ けん）：一九五四年～。熊本県生まれの俳人。松尾芭蕉などの俳人研究に取り組み、

俳句の「切れ」や「間」から、日本文化について考察を深めている。代表作には、「句会入門」「俳句の宇宙」「奥の細道」をよむ」などがある。

ア 掟 イ 物 ウ 芸術 エ 心理的 オ 間の文化

漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- (1) 戸の隙間

□(2) 部屋の鍵

□(3) 宮廷画家

□(4) 芝居を見る

□(5) 琴を弾く

□(6) 遠慮なく食べる

□(7) 犬を褒める

□(8) 深謀をめぐらす

□(9) 狭い道

□(10) 混乱に陥る

□(11) 重厚な扉

□(12) 関係を断ち切る

□(13) 座敷に通す

□(14) 交響曲を聴く

□(15) そばに控える

□(16) 布でオオウ

□(17) 家のカベ

□(18) シュクエンを催す

□(19) イキツギをする

□(20) ヒマをもてあます

□(21) チンモクは金

□(22) 解決にイタる

□(23) メズラしい鳥

□(24) リエキを出す

□(25) 申し出をジタイする

□(26) 違反を取りシまる

□(27) マノびした声

□(28) イシツな存在

□(29) キョウゾン方法を考える

□(30) お互いをソンチヨウする

重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。また、その言葉を使った例文を書きなさい。

④	③	②	①
円滑	やおら	衝動	重厚
例文	例文	例文	例文
意味	意味	意味	意味
物事がすらすらと滞りなく進行すること。	彼はやおら立ち上がり、こちらに歩いて来た。	心を突き動かすこと。	重厚な造りの寺院を見学する。

問題 次の各文の空欄にあてはまる言葉を「重要な語句」の中から選び、書きなさい。

- (1) のままに私は走り出した。
- (2) 姉が顔を上げ、私を見た。
- (3) 大きくな机が部屋の中央に置かれている。
- (4) 打ち合わせがに終わり、ほっとする。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

10

5

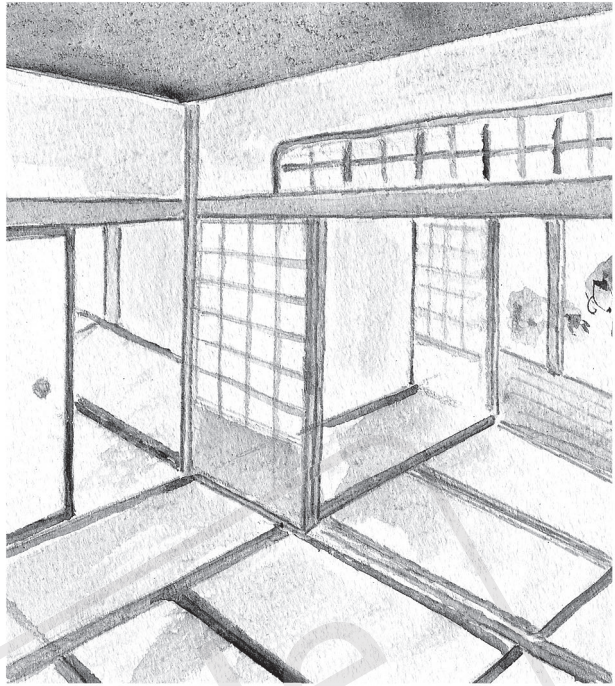
- (1) — 線①「いくつかの意味」とありますが、この文章では「間」の意味としてどのようなものが挙げられていますか。文章中からさがし、十五字で書きぬきなさい。

- (2) — 線②「日本の家」と③「西洋の家」の違いについて、筆者はどのように説明していますか。次の文の「 」にあてはまる言葉を文章中からさがし、書きぬきなさい。

日本の家には「 」
「 」というものが無いのに対して、西洋の家は、
「 」部屋を細かく「 」し、壁で仕切り、扉で「 」してしま
うという違いがある。

- (3) — 線④「西洋の個人主義」とありますが、これが生まれた原因を筆者はどのように考えていますか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で説明しなさい。

(はせがわい
長谷川権「間の文化」より)



読解のコツ

◎文章の構成や論理の展開の仕方を捉える

日本の家では、必要に応じて空間を自由に変えることができるという特徴が具体的に示されています。

↓学習のねらい①

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

挙げられている具体例から、筆者の主張を捉えます。

□(4) —線⑤「『源氏物語絵巻』」は、どのようなことを説明するための具体例として挙げられていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

過去と現代とで日本の家の建具があまり変わっていないこと。

イ 昔の日本の家はぜいたくな調度で装飾されていたこと。

ウ 日本の貴族の家は石や煉瓦や木の壁で仕切られていたこと。

エ 日本の家は頑丈な間仕切りを持たず、隙間だらけであること。

☐

□(5) —線⑥「このような建具」とありますが、何を指していますか。文章中から四つ書きぬきなさい。

— — — —

□(6) —線⑦「家の中の空間を自由自在につないだり仕切ったり」とありますが、どのような目的で「つないだり」「仕切ったり」するのですか。次からそれぞれ二つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 寒さを防ぐため。

イ 涼を得るため。

ウ 座敷、次の間、居間と使い分けるため。

エ おおぜいの客を迎えて祝宴を開くため。

つなぐ目的

☐

仕切る目的

☐

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

- (1) この文章を二つに分けるとすると、後半はどこから始まりますか。後半の最初の五字を書きぬきなさい。

- (2) —線①「心理的な間」とありますが、「心理的な間」をとった例として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア せまい家から、広い家に引越した。
イ 車道からなるべく離れて歩いた。

ウ 落胆している友達に、あえて声をかけずに見守った。
エ 三日続けて遊びに誘われ、三日目も遊びに行った。

--

- (3) —線②「あなたは遠慮深い」と言われると、褒められたような気がする」とありますが、その理由にあたる言葉を文章中からさがし、十字以内で書きぬきなさい。

- (4) 筆者は、「遠慮」とはどのようなことであると述べていますか。説明した部分を三十字前後で二つさがし、初めと終わりの五字ずつを書きぬきなさい。

読解のコツ

◎日本文化についての考えを深める

筆者は、間の使い方は日本の最も基本的な「掟」と述べています。

↓学習のねらい②

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

普段何気なく使っている言い回しにも多くの「間」に関するものがあり、それぞれの意味を知ること、日本文化に根付く「間」について考えるきっかけになることが示されています。



(はせがわい
長谷川権「間の文化」より)

□(5) —線③「遠慮」という言葉は中国で生まれた」とありますが、中国ではこの言葉はどのようなことを意味しますか。文章中の言葉を使って答えなさい。

□(6) 中国と日本との「遠慮」という言葉の使われ方の違いについて、最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本では、「遠慮」という言葉が四字熟語の一部として使われることはない。
イ 日本では、「遠慮」は自分の内面ではなく、相手との関係を意識する言葉である。

ウ 日本では、「遠慮」は、ごく日常的な言葉として人々に親しまれている。

エ 日本では、「遠慮」という言葉にいろいろな意味合いが含まれている。



□(7) —線④「日本文化はまさに『間の文化』ということが出来る」とありますが、このようにいえるのはなぜですか。「日本人が、」に続く形で、文章中の言葉を使って答えなさい。
日本人が、

まとめテスト

間の文化

得点

100点

教科書

P. 56 ~ P. 63

36

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をおとから選び、記号で答えなさい。

2点×6 12点

- (1) 日本文化は「空間的な間^ま」、「時間的な間」、「心理的な間」といったさまざま「間」を使いこなす「間の文化」であるといえる。この「間」は、異質なもののどうしの①を和らげ、調和させ、②させるはたらき、つまり日本人が昔から尊重し、培^{つちか}ってきた「③」を実現させるはたらきがある。

ア 共存 イ 間遠^{まどお} ウ 対立 エ 和

- (2) 評論では、筆者の主張を説明するために、①な事例を他者と比較しながら挙げている。「間の文化」では、日本の「間」について「空間的な間」、「時間的な間」、「心理的な間」に分け、それぞれ日本と他の国を比較しながら説明している。

□(3) ②として、筆者は、間の使い方は日本で最も基本的な③であり、

日本文化は「間の文化」であると述べている。

ア 抽象的 イ 掟^{おきて} ウ 具体的 エ 結論 オ 序論

2 次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

- (1) 鍵^{かぎ}をかける □(2) 法^{はふ}廷^{てい}で争^{あらまが}う □(3) 琴^{こと}線^{せん}に触^ふれる
□(4) 濃^{のう}厚^{こう}な味^{あじ}わい □(5) 道^{みち}が陷^{おち}没^{ぼつ}する □(6) 連^{れん}絡^{らく}を断^{こと}つ
□(7) スキをうかがう □(8) おおげさなシ^しバ^ばイをする
□(9) ハイリヨが足りない □(10) 功^{こう}績^{せき}をホ^ほめたたえる
□(11) 運^{うん}動^{どう}するにはセ^せマ^まい □(12) ム^むボ^ぼウな選^{せん}択^{たく}

3 次のア～エの各文のうち、——線の語句の使い方が正しいものを全て選びなさい。

完答 14点

- ア やおら私の趣味にはあわない作品だ。
イ 衝^{しょう}動^{どう}的な行^{こう}動^{どう}は、できるだけ避^よける。
ウ 日^{にち}差^さしもよく、のどかな一日^{いちにち}を過^{すご}す。
エ 試験^{しけん}の結果^{けつが}を待^{まち}つことに駆^かられる。

□

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

50点

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(長谷川権「間の文化」より)

10

5

間



- (1) 文章中の A 〽 D にあてはまる言葉を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

各4点 16点

ア 間違いい イ 間抜け ウ 間延び
エ 間がいい

C	A
D	B

- (2) —線①「このように考えれば」とありますが、どのように考えることですか。「〽と考えること。」に続く形で三十字以内で答えなさい。

12点

と考えること。

- (3) —線②「間は……どのようなはたらきをしているのだろうか」とありますが、具体的にどのようなはたらきがありますか。また、それは日本の社会において何を表現させることになりますか。

15点

- (4) —線③「和」と同じ意味で使われている言葉を二つ、文章の中から漢字二字で書き抜きなさい。

完答 7点
